

編集後記

かなり以前の某大学の理工学系の名誉教授の随筆の中に、「研究と教育に敢えて順番をつけるとすれば、独創的研究、良質な教育、模倣的な研究、の順であろう」という一文がありました。「模倣的な研究」に関しては、臨床医学では幾つか考え方があります。臨床医学においては一般的に、「独創的研究」が小規模に臨床応用されて、さらにそれが多施設多症例で追試されると、一気に広く臨床で定着していきます。このように「模倣的な研究」を追試あるいは validation study としての大規模研究とみなすならば、この3者（独創的研究、良質な教育、模倣的な研究）はいずれも重要とすることができます。臨床医学講座では「研究」と「教育」と「診療」の3基軸は常に密接に関係していますので、「独創的研究、良質な教育、模倣的な研究」は広義には全て重要と言えるでしょう。

本誌を含めて、臨床系学術雑誌の論文も、この3点がバ

ランスよく組み込まれていて、読者の日々の満足度は高まると理解します。年次学術集会でも「独創的研究、良質な教育」は大変重要視されてきて、「臨床研究の追試あるいは validation study」も増加してきていると理解します。今後、「臨床研究の追試あるいは validation study」に参加協力することの incentive の「より見える化」がさらに明瞭になると、欧米での多施設大規模研究に匹敵する我が国からの情報がより発信できることが期待されます。

今後、臨床研究は、COIを適切に管理することで誤解されずに萎縮することがなくなり、さらにその incentive が「より見える化」されると、益々発展することが期待されます。今後も本誌が先生方にこのようなお手伝いが継続してできるように発展することを切に願い、読者の皆様からの投稿をお願いいたします。

(池田 昭夫)

〈編集委員〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡 古賀 政利
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

〔臨床神経学〕 第59巻 第9号 2019年9月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 戸田 達史
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>